

一枚のカードにおける全ての社会サービスの標準化とデジタルパスポートとしての提案

令和6年4月30日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

全ての社会における会員カードサービスを統合し、標準化した規格においてサービスの提案を行うことは、デジタル社会におけるデジタルパスポートとしての提案とともに、その新しい可能性をサービスと製品として提案したいと考える。

これらはスマートフォンアプリケーションとともに、会員カードサービスの統合と全てのカードサービスの標準化を提案したいと考える。これらはスマートマネーとしての銀行口座の登録などとともに、デジタル社会におけるデジタルパスポートとスマートマネーとしてのサービス構築を提案したいと考える。

これらはタッチ認証における規格への参加を基盤として、その多様な可能性とサービスの構築を実現したいと考える。

またスマートフォンにおける同様のサービスの構築は、アプリケーションに整備とともに、その選択を提案したいと考える。

これらはデジタル社会における自己認証とスマートマネーとしてのサービスを、インターネットにおけるサービスの提案とともに実現できるものとする。

## 地図データとデジタルサービスの融合

これは位置データとデジタルサービスが、融合し地図とともに表示されるデジタルサービスの共有を規格化し提案するものである。これらはGoogle マップなどをさらに一步踏み込んで、デジタルサービスを地図データとシンクロさせ提案できるものとする。

これらは来たるべきデジタル社会における基幹インフラとしての提案を模索するものであり、これらはデジタルサービスが、地図と連携し、スマートフォンや、携帯端末、カーナビゲーションなどと連動し、その可能性を拡大しサービスの構築を提案できるものである。

これらは規格化し、提案するものであり、多様な用途へ、標準化した環境の提案を実現するものである。

これらはデジタルサービスが、現実と融合し、それら新しいデジタル社会の形成を実現できるものであり、それらのフレームワークとしての規格と現実の構築が、それら事業における可能性を実現できると考える。

これらは多様なデジタルサービスが、地図データ連携することは、その可能性を拡大させるものであり、これらはデジタル社会への転換をその生活需要において、有するものである。

これらは大きな需要と拡大を有するため、オープンソースとしての開発やサービスの構築を実現できるものとする。

これらは、社会のデジタル化における基幹インフラとして、提案できるものであり、規格の統一や新規規格の作成などが、オープンソースとともに、これらデジタル社会の実現を提案できるのである。